

★ 1年ぶりの友、松山から夫婦で下りてくれる友、時々顔を見てくれる友。GORIコーヒーで“あいわべりは、ほんとに楽しいひとときです。待ってます。

読書ノート

- ・芸術と科学のあいだ 福岡伸一著
木楽社

私の手の平を広げたくらいの親しみやすい本。毎月婦人之友のフォトエッセイで“お、なじみの著者は分子生物学者、「日曜美術館」で「Tフェルメール命です」と語られた。「牛乳を注ぐ女」の絵のあのフェルメールをなぜ好きになったのか。ほかにおもしろい言葉がいっぱいあります。人類の祖先と習ったネアンデルタール人、2万年以上前の化石のDNAを解析したところ、ヒトとは大きく異っていた。つまりヒトとは別の種だったろう。藝術と科学をつぶく視点。私はとても新鮮。

- ・おらおらでひとりでいくも 著竹千佐子著
河出書房新社
- 64歳で小説デビューした著者の幼女作(芥川賞)「あいやあ、おらの頭(あたま)このごろ、なんぼかあかしくなってきたん? “ねべが”どうすげえ……」といきなり東北弁。桃子さんの独り言が続く。私にはない身のないことは。ゆっくり読むうちにぬくもりを感じて、夫に先立たれた桃子さんに寄り添う。いつか必ずどちらかひとり残される怖い。老いていく自分の心の声を聞きながら、桃子のように力強く生きていけるのだろうか。この本を貸してくれたみのちゃんも夫を亡くして、ようやく元気になりつつある。

- ・おうちのくつ 文ハレビゼル、絵ルイス・スロボットキン 瑞雲社
- ・このねこ・うちのねこ ウォーシニア・カール作繪
いたまとみ著

森の妖精

シラクマ

アリ

セ

としも竹中農園

の

シラク

ム

ン

が庭

や窓

を

鶏と野菜の蒸し煮 野菜の滋味たっぷり (4人分)

野菜の滋味たっぷり
元気が出る。(婦人之友より)

鶏手羽元 8本……竹串でパツツ刺しして
Ⓐ(おろしにんにく1片分)Ⓐをなじませ10分おく
しょうゆ大さじ2
切り干し大根 20g……10分水につけしましす、よく切る。
白菜(キャベツ) 300g 6~7cmざく切り。
えのき茸……1ハーフ $\frac{1}{2}$ 長さに
人参 50g ピーラーでささかき
昆布 10cm角2枚 ホン酢
水 2カップ

- ・鍋に昆布をしいて野菜を入れ、すぐ間にトリ肉を入れ、水を加え中火で15分ほど煮る

けやき通信 2018.12月 NO.306

—錦織佳代子—



今治まちなか学 今治市まちなか活性化サムライ

12/9 金星川と横町1ストレジャック～路地の歩き方～



案内人は
ROKUSAN
すきな大人の
いいのスター
&ロックユニット
今治まちなか生まれ
まちなか育ち

窓の向こうの数は
初冬の日を浴びて
金色に輝やく、
毎日、ズズメの一団が
やさきて楽し気に動き
まわる。

